



# 大梅

DAIBAI



大梅拈華山 圓通 正法寺

Vol.8  
Free Paper

## - 正法寺発展興隆奉賛会協賛者御芳名 - 令和元年度(6月1日~11月30日まで受付分)

岩手第七番	光西寺	宮城第三九二番	普門院
岩手第六七番	長壽寺	宮城第三八四番	大雄寺
岩手第六六番	宝泉寺	宮城第三七三番	東昌寺
岩手第六五番	長壽寺	宮城第三五七番	昌学寺
岩手第六四番	瑞昌寺	宮城第三四七番	海蔵庵
岩手第六三番	大祥寺	宮城第三四四番	龍澤寺
岩手第六二番	龍澤寺	宮城第三〇六番	陽山寺
岩手第六〇番	龍澤寺	宮城第二七九番	願成寺
岩手第五九番	願成寺	宮城第二五九番	真證寺
岩手第五八番	願成寺	宮城第二二八番	新豊寺
岩手第五七番	梅泉寺	宮城第二〇二番	祥雲寺
岩手第五六番	大機寺	宮城第一八二番	皆伝寺
岩手第五五番	寶壽寺	宮城第一七三番	法圓寺
岩手第五四番	松山寺	宮城第一六四番	槽川寺
岩手第五三番	養養寺	宮城第一五七番	湯船寺
岩手第五二番	西念寺	宮城第一四七番	昌源寺
岩手第五一番	泉徳寺	宮城第一三九番	徳本寺
岩手第五〇番	緑城寺	宮城第一三〇番	洞昌寺
岩手第四九番	長壽寺	宮城第一二二番	繁昌院
岩手第四八番	長壽寺	宮城第一一三番	洞林寺
岩手第四七番	長壽寺	宮城第一〇三番	法常寺
岩手第四六番	長壽寺	宮城第九三番	向泉寺
岩手第四五番	長壽寺	宮城第八三番	向泉寺
岩手第四四番	長壽寺	宮城第七三番	法圓寺
岩手第四三番	長壽寺	宮城第六三番	徳本寺
岩手第四二番	長壽寺	宮城第五三番	洞昌寺
岩手第四一番	長壽寺	宮城第四三番	洞昌寺
岩手第四〇番	長壽寺	宮城第三三番	洞昌寺
岩手第三九番	長壽寺	宮城第二三番	洞昌寺
岩手第三八番	長壽寺	宮城第十三番	洞昌寺
岩手第三七番	長壽寺	宮城第三番	洞昌寺
岩手第三六番	長壽寺	宮城第二番	洞昌寺
岩手第三五番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三四番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三三番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三二番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三一番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三〇番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二九番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二八番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二七番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二六番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二五番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二四番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二三番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二二番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二一番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二〇番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一九番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一八番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一七番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一六番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一五番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一四番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一三番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一二番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一一番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一〇番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第九番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第八番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第七番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第六番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第五番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第四番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第三番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第二番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
岩手第一番	長壽寺	宮城第一番	洞昌寺
北海道第一〇三番	禪洞寺	岩手第九六番	建高寺
青森第七番	海蔵寺	岩手第二〇二番	東川院
青森第九七番	源福寺	岩手第二〇七番	地蔵院
青森第九八番	東光寺	岩手第二一七番	大光寺
青森第一〇二番	月窓寺	岩手第二二四番	永澤寺
青森第四六番	大雄寺	岩手第二二五番	玉川寺
青森第八三番	大乘寺	岩手第二二六番	長林寺
青森第八七番	観音寺	岩手第二二七番	安養寺
秋田第六番	妙覚寺	岩手第二三番	盛岩寺
秋田第七番	補陀寺	岩手第二六三番	瑞雲寺
秋田第八番	乗福寺	岩手第二八九番	宝積寺
秋田第九番	滝川寺	岩手第二九三番	長興寺
秋田第十番	蔵堅寺	岩手第三〇三番	千手寺
秋田第十一番	泉秀寺	岩手第三一五番	観音寺
秋田第十二番	蔵立寺	宮城第一〇番	瀧澤寺
秋田第十三番	善龍寺	宮城第一二番	松源寺
秋田第十四番	大慈寺	宮城第一五番	洞雲寺
秋田第十五番	曹溪寺	宮城第二二番	洞雲寺
秋田第十六番	大圓寺	宮城第二九番	清水寺
秋田第十七番	永泉寺	宮城第三六番	長泉寺
秋田第十八番	大圓寺	宮城第四二番	金剛寺
秋田第十九番	長壽寺	宮城第四七番	福島第二六三番
秋田第二十番	長壽寺	宮城第五三番	福島第二六四番
秋田第二一番	長壽寺	宮城第五九番	福島第二六五番
秋田第二二番	長壽寺	宮城第六五番	福島第二六六番
秋田第二三番	長壽寺	宮城第七一番	福島第二六七番
秋田第二四番	長壽寺	宮城第七七番	福島第二七八番
秋田第二五番	長壽寺	宮城第八三番	福島第二七九番
秋田第二六番	長壽寺	宮城第八九番	福島第二八〇番
秋田第二七番	長壽寺	宮城第九五番	福島第二八一番
秋田第二八番	長壽寺	宮城第一〇一番	福島第二八二番
秋田第二九番	長壽寺	宮城第一〇七番	福島第二八三番
秋田第三〇番	長壽寺	宮城第一一三番	福島第二八四番
秋田第三一番	長壽寺	宮城第一一九番	福島第二八五番
秋田第三二番	長壽寺	宮城一二五番	福島第二八六番
秋田第三三番	長壽寺	宮城一三一番	福島第二八七番
秋田第三四番	長壽寺	宮城一三七番	福島第二八八番
秋田第三五番	長壽寺	宮城一四三番	福島第二八九番
秋田第三六番	長壽寺	宮城一四九番	福島第二九〇番
秋田第三七番	長壽寺	宮城一五五番	福島第二九一番
秋田第三八番	長壽寺	宮城一六一番	福島第二九二番
秋田第三九番	長壽寺	宮城一六七番	福島第二九三番
秋田第四〇番	長壽寺	宮城一七三番	福島第二九四番
秋田第四一番	長壽寺	宮城一七九番	福島第二九五番
秋田第四二番	長壽寺	宮城一八五番	福島第二九六番
秋田第四三番	長壽寺	宮城一九一番	福島第二九七番
秋田第四四番	長壽寺	宮城一九七番	福島第二九八番
秋田第四五番	長壽寺	宮城二〇三番	福島第二九九番
秋田第四六番	長壽寺	宮城二〇九番	福島第三〇〇番
秋田第四七番	長壽寺	宮城二一五番	福島第三〇一番
秋田第四八番	長壽寺	宮城二二一番	福島第三〇二番
秋田第四九番	長壽寺	宮城二二七番	福島第三〇三番
秋田第五〇番	長壽寺	宮城二三三番	福島第三〇四番
秋田第五一番	長壽寺	宮城二三九番	福島第三〇五番
秋田第五二番	長壽寺	宮城二四五番	福島第三〇六番
秋田第五三番	長壽寺	宮城二五一番	福島第三〇七番
秋田第五四番	長壽寺	宮城二六一番	福島第三〇八番
秋田第五五番	長壽寺	宮城二六二番	福島第三〇九番
秋田第五六番	長壽寺	宮城二六八番	福島第三一〇番
秋田第五七番	長壽寺	宮城二七四番	福島第三一一番
秋田第五八番	長壽寺	宮城二八〇番	福島第三一二番
秋田第五九番	長壽寺	宮城二八六番	福島第三一三番
秋田第六〇番	長壽寺	宮城二九二番	福島第三一四番
秋田第六一番	長壽寺	宮城二九八番	福島第三一五番
秋田第六二番	長壽寺	宮城三〇四番	福島第三一六番
秋田第六三番	長壽寺	宮城三一〇番	福島第三一七番
秋田第六四番	長壽寺	宮城三一六番	福島第三一八番
秋田第六五番	長壽寺	宮城三二二番	福島第三一九番
秋田第六六番	長壽寺	宮城三二八番	福島第三二〇番
秋田第六七番	長壽寺	宮城三三四番	福島第三二一番
秋田第六八番	長壽寺	宮城三五〇番	福島第三二二番
秋田第六九番	長壽寺	宮城三五六番	福島第三二三番
秋田第七〇番	長壽寺	宮城三六二番	福島第三二四番
秋田第七一番	長壽寺	宮城三六八番	福島第三二五番
秋田第七二番	長壽寺	宮城三七四番	福島第三二六番
秋田第七三番	長壽寺	宮城三八〇番	福島第三二七番
秋田第七四番	長壽寺	宮城三八六番	福島第三二八番
秋田第七五番	長壽寺	宮城三九二番	福島第三二九番
秋田第七六番	長壽寺	宮城三九八番	福島第三三〇番
秋田第七七番	長壽寺	宮城四〇四番	福島第三三一番
秋田第七八番	長壽寺	宮城四一〇番	福島第三三二番
秋田第七九番	長壽寺	宮城四一六番	福島第三三三番
秋田第八〇番	長壽寺	宮城四二二番	福島第三三四番
秋田第八一番	長壽寺	宮城四二八番	福島第三三五番
秋田第八二番	長壽寺	宮城四三四番	福島第三三六番
秋田第八三番	長壽寺	宮城四四〇番	福島第三三七番
秋田第八四番	長壽寺	宮城四四六番	福島第三三八番
秋田第八五番	長壽寺	宮城四五二番	福島第三三九番
秋田第八六番	長壽寺	宮城四五八番	福島第三四〇番
秋田第八七番	長壽寺	宮城四六四番	福島第三四一番
秋田第八八番	長壽寺	宮城四七〇番	福島第三四二番
秋田第八九番	長壽寺	宮城四七六番	福島第三四三番
秋田第九〇番	長壽寺	宮城四八二番	福島第三四四番
秋田第九一番	長壽寺	宮城四八八番	福島第三四五番
秋田第九二番	長壽寺	宮城四九四番	福島第三四六番
秋田第九三番	長壽寺	宮城五〇〇番	福島第三四七番
秋田第九四番	長壽寺	宮城五〇六番	福島第三四八番
秋田第九五番	長壽寺	宮城五一二番	福島第三四九番
秋田第九六番	長壽寺	宮城五一八番	福島第三五〇番
秋田第九七番	長壽寺	宮城五二四番	福島第三五一番
秋田第九八番	長壽寺	宮城五三〇番	福島第三五二番
秋田第九九番	長壽寺	宮城五三六番	福島第三五三番
秋田第一〇〇番	長壽寺	宮城五四二番	福島第三五四番
秋田第一〇一番	長壽寺	宮城五四八番	福島第三五五番
秋田第一〇二番	長壽寺	宮城五五四番	福島第三五六番
秋田第一〇三番	長壽寺	宮城五六〇番	福島第三五七番
秋田第一〇四番	長壽寺	宮城五六六番	福島第三五八番
秋田第一〇五番	長壽寺	宮城五七二番	福島第三五九番
秋田第一〇六番	長壽寺	宮城五七八番	福島第三六〇番
秋田第一〇七番	長壽寺	宮城五八四番	福島第三六一番
秋田第一〇八番	長壽寺	宮城五九〇番	福島第三六二番
秋田第一〇九番	長壽寺	宮城五九六番	福島第三六三番
秋田第一一〇番	長壽寺	宮城六〇二番	福島第三六四番
秋田第一一一番	長壽寺	宮城六〇八番	福島第三六五番
秋田第一一二番	長壽寺	宮城六一四番	福島第三六六番
秋田第一一三番	長壽寺	宮城六二〇番	福島第三六七番
秋田第一一四番	長壽寺	宮城六二六番	福島第三六八番
秋田第一一五番	長壽寺	宮城六三二番	福島第三六九番
秋田第一一六番	長壽寺	宮城六三八番	福島第三七〇番
秋田第一一七番	長壽寺	宮城六四四番	福島第三七一番
秋田第一一八番	長壽寺	宮城六五〇番	福島第三七二番
秋田第一一九番	長壽寺	宮城六五六番	福島第三七三番
秋田第一二〇番	長壽寺	宮城六六二番	福島第三七四番
秋田第一二一番	長壽寺	宮城六六八番	福島第三七五番
秋田第一二二番	長壽寺	宮城六七四番	福島第三七六番
秋田第一二三番	長壽寺	宮城六八〇番	福島第三七七番
秋田第一二四番	長壽寺	宮城六八六番	福島第三七八番
秋田第一二五番	長壽寺	宮城六九二番	福島第三七九番
秋田第一二六番	長壽寺	宮城六九八番	福島第三八〇番
秋田第一二七番	長壽寺	宮城七〇四番	福島第三八一番
秋田第一二八番	長壽寺	宮城七一〇番	福島第三八二番
秋田第一二九番	長壽寺	宮城七一六番	福島第三八三番
秋田第一三〇番	長壽寺	宮城七二二番	福島第三八四番
秋田第一三一番	長壽寺	宮城七二八番	福島第三八五番
秋田第一三二番	長壽寺	宮城七三四番	福島第三八六番
秋田第一三三番	長壽寺	宮城七四〇番	福島第三八七番
秋田第一三四番	長壽寺	宮城七四六番	福島第三八八番
秋田第一三五番	長壽寺	宮城七五二番	福島第三八九番
秋田第一三六番	長壽寺	宮城七五八番	福島第三九〇番
秋田第一三七番	長壽寺	宮城七六四番	福島第三九一番
秋田第一三八番	長壽寺	宮城七七〇番	福島第三九二番
秋田第一三九番	長壽寺	宮城七七六番	福島第三九三番
秋田第一四〇番	長壽寺	宮城七八二番	福島第三九四番
秋田第一四一番	長壽寺	宮城七八八番	福島第三九五番
秋田第一四二番	長壽寺	宮城七九四番	福島第三九六番
秋田第一四三番	長壽寺	宮城八〇〇番	福島第三九七番
秋田第一四四番	長壽寺	宮城八〇六番	福島第三九八番
秋田第一四五番	長壽寺	宮城八一二番	福島第三九九番
秋田第一四六番	長壽寺	宮城八一八番	福島第四〇〇番
秋田第一四七番	長壽寺	宮城八二四番	福島第四〇一番
秋田第一四八番	長壽寺	宮城八三〇番	福島第四〇二番
秋田第一四九番	長壽寺	宮城八三六番	福島第四〇三番
秋田第一五〇番	長壽寺	宮城八四二番	福島第四〇四番
秋田第一五一番	長壽寺	宮城八四八番	福島第四〇五番
秋田第一五二番	長壽寺	宮城八五四番	福島第四〇六番
秋田第一五三番	長壽寺	宮城八六〇番	福島第四〇七番
秋田第一五四番	長壽寺	宮城八六六番	福島第四〇八番
秋田第一五五番	長壽寺	宮城八七二番	福島第四〇九番
秋田第一五六番	長壽寺	宮城八七八番	福島第四一〇番
秋田第一五七番	長壽寺	宮城八八四番	福島第四一一番
秋田第一五八番	長壽寺	宮城八九〇番	福島第四一二番
秋田第一五九番	長壽寺	宮城八九六番	福島第四一三番
秋田第一六〇番	長壽寺	宮城九〇二番	福島第四一四番
秋田第一六一番	長壽寺	宮城九〇八番	福島第四一五番
秋田第一六二番	長壽寺	宮城九一四番	福島第四一六番
秋田第一六三番	長壽寺	宮城九二〇番	福島第四一七番
秋田第一六四番	長壽寺	宮城九二六番	福島第四一八番
秋田第一六五番	長壽寺	宮城九三二番	福島第四一九番
秋田第一六六番	長壽寺	宮城九三八番	福島第四二〇番
秋田第一六七番	長壽寺	宮城九四四番	福島第四二一番
秋田第一六八番	長壽寺	宮城九五〇番	福島第四二二番
秋田第一六九番	長壽寺	宮城九五六番	福島第四二三番
秋田第一七〇番	長壽寺	宮城九六二番	福島第四二四番
秋田第一七一番	長壽寺	宮城九六八番	福島第四二五番
秋田第一七二番	長壽寺	宮城九七四番	福島第四二六番
秋田第一七三番	長壽寺	宮城九八〇番	福島第四二七番
秋田第一七四番	長壽寺	宮城九八六番	福島第四二八番
秋田第一七五番	長壽寺	宮城九九二番	福島第四二九番
秋田第一七六番	長壽寺	宮城九九八番	福島第四三〇番
秋田第一七七番	長壽寺	宮城一〇〇四番	福島第四三一番
秋田第一七八番	長壽寺	宮城一〇一〇番	福島第四三二番
秋田第一七九番	長壽寺	宮城一〇一六番	福島第四三三番
秋田第一八〇番	長壽寺	宮城一〇二二番	福島第四三四番
秋田第一八一番	長壽寺	宮城一〇二八番	福島第四三五番
秋田第一八二番	長壽寺	宮城一〇三四番	福島第四三六番
秋田第一八三番	長壽寺	宮城一〇四〇番	福島第四三七番
秋田第一八四番	長壽寺	宮城一〇四六番	福島第四三八番
秋田第一八五番	長壽寺	宮城一〇五二番	福島第四三九番
秋田第一八六番	長壽寺	宮城一〇五八番	福島第四四〇番
秋田第一八七番	長壽寺	宮城一〇六四番	福島第四四一番
秋田第一八八番	長壽寺	宮城一〇七〇番	福島第四四二番
秋田第一八九番	長壽寺	宮城一〇七六番	福島第四四三番
秋田第一九〇番	長壽寺	宮城一〇八二番	福島第四四四番
秋田第一九一番	長壽寺	宮城一〇八八番	福島第四四五番
秋田第一九二番	長壽寺	宮城一〇九四番	福島第四四六番
秋田第一九三番	長壽寺	宮城一〇一〇番	福島第四四七番
秋田第一九四番	長壽寺	宮城一〇一六番	福島第四四八番
秋田第一九五番	長壽寺	宮城一〇二二番	福島第四四九番
秋田第一九六番	長壽寺	宮城一〇二八番	福島第四五〇番
秋田第一九七番	長壽寺	宮城一〇三四番	福島第四五一番
秋田第一九八番	長壽寺	宮城一〇四〇番	福島第四五二番
秋田第一九九番	長壽寺	宮城一〇四六番	福島第四五三番
秋田第二〇〇番	長壽寺	宮城一〇五二番	福島第四五四番
秋田第二〇一番	長壽寺	宮城一〇五八番	福島第四五五番
秋田第二〇二番			



正法寺末寺護持会会長  
岩手県158番 願成寺住職 芳川春彦 老師

## 年頭のご挨拶

改歳の令辰に当たり、皆様方には良き新年をお迎えのこと大慶に存じ上げます。  
御本寺山主老師様におかれては、昨年は正法寺内外に精力的な活動をこなされ、東北に正法寺ありとの面目躍如の感を新たにさせられております。  
山内役寮の皆様も山主老師の補佐として大衆の指導に当たっており、人数は少ないながらも、他の僧堂にも引けを取らない年間行持や臨時行持を積極的に行ってまいります。  
本年は年号が令和となつて最初の新年を迎え、新たな時代の幕開けとなります。私たち末寺一同も積極的に御本寺様の護持に関わり山主老師と共に令和の時代にふさわしい正法寺の活動を支援申し上げていくことが肝要と存ずる次第です。  
昨年、末寺護持会会長職を何も分からぬまま拝命し今日に到っておりますが、本年も皆様方のご叱正・ご助言、ご指導を賜りながら、御本寺護持の為、任を全うして参る所存です。  
末筆ながら各ご寺院のご隆盛と皆様のご法臘延長を祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

正法寺末寺護持会会長 願成寺 芳川春彦



法堂東序にて法話をされる山主老師

## 謹賀新年

正法寺 山主 盛田正孝

令和に改元して初めてのお正月を皆様御健勝にてお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

日頃、正法寺の為に心を寄せて頂いております事、誠に有難く年頭に当り心より御礼申し上げます。

正法寺も開單して三年、その歩みは幼児の如くではありますが今は道根を養う時節と心得ております。毎朝開山堂にて献香三拜し、御尊牌を拜するにつけ、栄枯盛衰の中にて正法相統の御苦勞が伝わって参ります。本山格を失い、檀家寺でもなく往時の姿はなく、正に「澆風の叢林」の如き時でも先人はその場が光に充ち、花と妙なる香りのある林、即ち佛子の居ます「蘆薈の林」であると言う高祖様の親訓と太祖様の「唯だ精進と不精進とに依る」との箴言を杖としてまいりました。本年も常精進、それも静かなる精進に励む事を新年に際し誓うもので御座います。

本年も何卒宜しく御教導の程をお願い申し上げます。

## 山主老師 動静報告

### 【法要関係】

十月十日 末寺 山形県 瑞岩寺 本葬儀 秉炬佛事師 於 山形県 瑞岩寺

十一月五日 本山 独住四世中興 石川素童禪師百回御遠忌 於 大本山 總持寺

十一月十六日 秋田県 蔵立寺 佛前結婚式 式師 於 秋田県 蔵立寺

十二月二十二日 岩手県 養養寺 先住忌 焼香師 於 岩手県 養養寺

### 【講演会関係】

八月三十一日 曹洞宗東北管区センター主催「禅をきく会」 於 仙台市太白区文化センター

十月二十二日 曹洞宗北信越管区センター主催「禅をきく会」 於 金沢市アートホール

十二月十八日 第四十二回 中国曹洞宗青年会いずも大会 併催 令和元年度 禅文化学林 於 島根県松江市 ホテル一畑



### 岩手県曹洞宗青年会 「第五十四回 みちのく緑蔭禪のつどい」

七月六・七日の日程で、岩手県曹洞宗青年会主催「第五十四回 みちのく緑蔭禪のつどい」が當山を会場に開催され、県内より十一名の参加者が参集致しました。  
六日の十三時三十分より、法堂に於いて開講式が執り行われ、青年会会長（花巻市円通寺住職）伊藤寛英師が導師を勤められました。その後、十五時三十分からは山主老師の法話が法堂東序にて行われ、参禪会参加者・青年会会員の方々が拝聴致しました。  
翌朝の暁天坐禪や朝課も山内大衆・役寮と共にを行い、無事に二日間の日程を終えました。



### 宮城県曹洞宗青年会 令和元年度第二回研修会

宮城県曹洞宗青年会 研修委員長  
天性寺副住職 渡邊桂堂

令和元年七月十七日（水）、岩手県正法寺様を会場に、宮城県曹洞宗青年会の研修会を開催させていただきました。  
当日は五十名の会員が参加し、山主老師はじめ山内役寮諸老師ご隨喜の中、拜登願經をお勤めし、その後坐禪実修となりました。一炷という限られた時間ではありましたが、僧堂の内外の単を開放していただくという格別のご配慮に感激しながら参禪させていただきました。

中食の後、山主老師より、「弁道から布教」をテーマにご法話を賜りました。ご法話の中で、「教化衆生」たる布教活動には、常に話す側の修行の在り方である「勤求菩提」の日常底が問われる、というご教示に参加者各々が深く感銘を受ける姿が印象的でした。  
本研修会が初めての拜登という宗侶も多く、緊張感を持って各行持を勤めることができました。歴史ある道場に身を置き、研修のひと時を過ごさせていただきました事は、貴重な体験であるだけでなく会員各々の初心を思い返す機縁になった事と存じます。



### 曹洞宗山形県第一宗務所青年会 最上支部主催 「第五十回 緑蔭禪の集い」

八月二日の日程で、曹洞宗山形県第一宗務所青年会 最上支部主催「第五十回 緑蔭禪の集い」が當山を会場に行われました。  
例年、最上支部の緑蔭禪の集いは支部内の寺院を会場として行われていたのですが、今年度は第五十回記念という事もあり、當山にて開催されました。非常に気温が高い中行われた坐禪会でしたが、山形県より集まった小学生二十四名と青年会会員十五名が参加し、体調を崩す人もなく、無事に二日間の日程を終えました。



### 埼玉県佛教保育協会 令和元年度 夏季研修会

七月三十日、埼玉県佛教保育協会 夏季研修会が行われ、埼玉県内の幼稚園教諭三十八名が参加致しました。  
佛殿（法堂西序）に於いて、當山専門僧堂 單頭の柴田淳一老師指導のもと、約四十分は渡り静かに坐禪修行を致しました。  
その後、場所を法堂東序に移し山主老師の法話、引き続き日本仏教保育協会 理事長高山久照師の「生命尊重の保育について」と題した特別講座をそれぞれ拝聴し、無事に當山での全日程を終えられました。



## 曹洞宗岩手県宗務所第六教区 両祖忌・人権学習

令和元年九月二十九日、曹洞宗 人権学習が行われました。  
岩手県宗務所第六教区主催の両祖忌と人権学習が當山にて行われました。第六教区の両祖忌は、毎年教区寺院を輪番で修行されておりましたが、昨年度より、當山専門僧堂にて行われる両祖忌に併せて修行されております。

両祖忌正當献飯飄經の導師は正法寺専門僧堂 後堂 渡邊了英老師が御代理にてお勤めになり、山内第六教区の御寺院様共に両祖様の遺徳を偲ぶ報恩の焼香を致しました。飄經後は場所を庫裡瑞鳳閣に移し、

人権学習が行われました。大本山永平寺を開かれた道元禪師は、建長五(二二五三)年八月二十八日に五十四歳で、大本山總持寺を開かれた盤山禪師は、正中(二二三二)年八月十五日に、五十八歳で示寂されました。

両祖大師の示寂された両日を、太陽曆に換算した所、いずれも九月二十九日となりました。明治〇九年、太陽曆での九月二十九日を、両祖大師の御命日として「両祖忌」と定められました。



## 秘佛本尊 如意輪觀世音菩薩 御開帳 熊野大権現大祭祈禱會

十月十六日、當山鎮守 熊野大権現大祭祈禱會が修行されました。昨年引き続き、祈禱法要の前には曹洞宗東北管区センター統監 當山直末 岩手県遠應寺住職 高橋哲秋老師に御法話頂きました。

祈禱法要は當山直末御寺院様、有志隨喜御寺院様と山内役寮・大衆が大般若經を転読する中、参列された大勢の祈願主は、導師をお勤めになった山主老師から理趣分を加持して頂きお焼香致しました。山門並びに檀信徒の繁栄、五穀豊穰、厄災消除、家運隆盛、家内安全、諸願成就及び福寿増進等、全ての人々の幸福な生活を祈願する大法要でした。

祈禱法要後には「琴古流尺八盛岡竹友普門の会」の方々による、虚無僧尺八の献笛が今年も披露されました。



令和元年

# 冬制中 首座法戦式

## 『従容録』第六則「馬祖白黒」

10月15日より首座 日澤孝俊(静岡県133番 保蟹寺徒弟)、書記 伊藤裕磨師(岩手県120番 菅正院副住)、辨事 斗ヶ澤祥治(岩手県4番 長松寺徒弟)を中心に、冬制中期間に入りました。11月25日には首座法戦式が修行され、當山直末、岩手県宗務所第六教区、有志の各寺院の御隨喜。正法寺の檀信徒役員等に参列頂き、『従容録』第六則「馬祖白黒」について十人の問者と氣迫溢れる問答を交わし、見事説破致しました。法戦式が終わっても制中期間は継続致しますので、首座を中心に山内一同精進させて頂く所存で御座います。





## 臘八攝心會・釋尊成道會

十二月一日〜八日にかけて、山内では臘八攝心會が修行されました。臘八攝心は特に、十二月八日に佛道を成就されたお釋迦様の坐禪を追慕する期間として修行されます。

十二月一日、山主老師の検單より始まった今年の臘八攝心にも、県内外より有志隨喜御寺院様が来山し、山内役寮・大衆と共に攝心修行を致しました。攝心期間中は、山主・後堂・單頭各老師の提唱も行われ、一同真剣に拝聴致しました。

八日夜半の成道會献粥誦經は山主老師が導師をお勤めになり、隅中の成道會正當献飯誦經は後堂老師が御代理にて導師をお勤め、それぞれ佛殿(法堂西序)に於いて修行されました。



## 新任役寮上山

正法寺専門僧堂 布教師

海野 義範 (岩手県 第67番 永昌寺住職)

令和元年8月20日、正法寺専門僧堂 布教師として、岩手県第67番永昌寺住職 海野義範老師が上山し、山主老師より役寮辞令の交付が行われました。

海野老師は今年、特派布教師に任命され管長辞令を拝受致しました。特派布教師は、管長現下の告諭を携えて、任期中には全国各地を巡回致します。

正法寺専門僧堂に於いては非常勤で、主に寺院団参や各種研修会での法話、参禅会への対応等で御助力頂きます。

## 役寮転役転寮

正法寺専門僧堂 副監事

佐々木 道雄 (茨城県 第129番 長泉寺住職)

専門僧堂再開單より、維那を勤めて参りました佐々木道雄師は、令和元年7月15日付けで正法寺専門僧堂 副監事(非常勤)に転役転寮となりました。今後は、監事寮・尚事寮関係等で引き続き御助力頂きます。

# 茅葺 探訪

Vol.03

弘前藩津軽家 菩提寺  
曹洞宗 長勝寺 庫裏

### 【禪林街】

東北屈指の桜の名所である青森県弘前市にある弘前公園。東北地方唯一の現存天守である「弘前城」があり、古い城下町の雰囲気は今に伝えます。弘前城は、江戸時代には弘前藩津軽氏四万七千石の居城として、津軽地方の政治経済の中心地でした。

弘前城の南西の角、弘前市西茂森に「禪林街」と呼ばれる史跡があります。三十三箇寺の曹洞宗寺院が林のように並木道沿いに建っている事から禪林街と呼ばれ、同じ宗派の寺院がまとまって建っている場所は、全国的にも大変珍しい所でもあります。禪林街は「黒門通り」と「※赤門通り」に分かれており、黒門通りの最も奥に建っているのが、「長勝寺」です。

※赤門通りの一番奥に建っているのが、長勝寺の御本寺である「耕春山 宗徳寺」。

弘前藩の藩祖 津軽為信公(一五五〇〜一六〇八年)が、実父の大浦守信公(一五二四〜一五六八?)年の菩提を弔う為、当時津軽氏の居城であった堀越(弘前市郊外)に建立した長福山耕春院と、その御本寺である石川県金沢にあった龍光山宗徳寺を現在の場所に移転合併(九二二年)した禪寺です。



庫裏とは仏教寺院における伽藍の一つで、台所を兼ねる建物です。長勝寺の庫裏は、桁行18.8メートル・梁間13.9メートル・屋根は切妻造、茅葺き屋根の建物で、大浦城台所を移築したと伝わっており、すが、現在の庫裏は寛政四年（一七九四年）に建て直したものだそうです。

中世に遡る古材を多く残し、棟通りから前後に登り梁を渡した簡潔明快な架構が特徴で、三門・御影堂と共に17世紀初期の曹洞宗伽藍の構成を伝えるものとして非常に重要であるとの事から、平成五年に本堂と共に国の重要文化財に指定されました。

【国指定重要文化財】  
長勝寺 庫裏

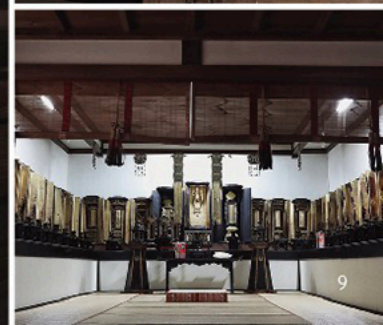


【太平洋山 長勝寺】

長勝寺は、享祿二年（一五二八年）に津軽氏の祖 大浦光信公（一四六〇～一五二六年）の菩提を弔う為、種里（現青森県西津軽郡鰺ヶ沢町）に創建されました。その後、大浦氏（津軽氏）の居城とともに大浦城・堀越城・弘前城へと移り、慶長十五年（一六〇九年）頃に現在地に移転。弘前城の南西の守りとして、長勝寺を中心とする「長勝寺構え」が形成されたそうです。

歴代の津軽家当主の菩提寺である長勝寺。江戸時代には、この地域における曹洞宗の※僧録所でもありました。文化財に指定されている建物も多く、三門・御影堂・本堂・庫裏・津軽家霊屋・銅鐘が国の重要文化財に指定されています。

※僧侶の登録や住職の任免等の人事を統括した役職・寺。



1.高さ約16メートル、巨大な長勝寺三門(国指定重要文化財)は寛永6年(1629年)、弘前藩二代藩主津軽信枚公によって建立。2.御影堂(国指定重要文化財)内部の厨子には、弘前藩初代藩主 津軽為信公の尊像が祀られている。3.位牌堂。弘前藩津軽家歴代当主の位牌が並ぶ。4.長勝寺本堂御本尊 釋迦三尊像。5.正面の入口が無い珍しい形式の本堂(国指定重要文化財)。



6.庫裏外観(左)と鐘楼堂(右)。7.庫裏入口に掲げられる大本山總持寺 独住第七世黙照円通禪師大忍孝道大和尚御染筆の扁額。8.庫裏内部、土間から飯台座を見通す。



曹洞宗 長勝寺

〒036-8273 青森県弘前市大字西茂森1丁目23-8  
拝観時間 / 9:00～16:00  
拝観休日 / ●4月～11月無休 ●12～3月休館

禅林街 長勝寺

